

第 75 回 経営協議会議事要録

日 時：令和 2 年 1 月 24 日（金） 13：30～15：40

場 所：本部管理棟 5 階会議室

出席者：櫻井学長、辻田理事（総務・財務・企画担当）、奥田理事（教育担当）、本家理事（研究・評価・医療担当）、受田理事（地域・国際・広報・IR 担当）、宮井理事（ワークライフバランス担当）、執印医学部附属病院長
岩瀬委員、河合委員、川村委員、近森委員、中島委員、山崎委員

欠席者：青木委員、中澤委員、橋口委員

陪席者：関監事、大崎監事、小山副理事（総務・財務担当）・事務局長、総務部長、財務部長、研究国際部長、学務部長、医学部・病院事務部長

〔配付資料〕

- 資料 1 知的財産の活用状況について
- 資料 2-1 人事院勧告に伴う給与関係規則の一部改正等について（案）
- 2-2 関係規則新旧対照表（案）
- 2-3 （参考）令和元年度人事院勧告に基づく国の給与改定に準じた改定を行った場合の対応財源について
- 2-4 （参考）令和元年度人事院勧告を参考とした給与改定を行った場合の給与額例
- 2-5 （参考）住居手当の新旧比較表
- 資料 3-1 義務教育等教員特別手当に関する関係規則の一部改正について（案）
- 3-2 関係規則新旧対照表（案）
- 資料 4-1 医師キャリア支援手当の新設に係る関係規則の一部改正について（案）
- 4-2 関係規則新旧対照表（案）
- 資料 5-1 臨地実習指導手当の新設に係る関係規則の一部改正について（案）
- 5-2 関係規則新旧対照表（案）
- 資料 6-1 リフレッシュ休暇に関する関係規則の一部改正について（案）
- 6-2 関係規則新旧対照表（案）
- 資料 7 令和 2 年度予算内示について
- 資料 8-1 決算剰余金の繰越承認及び配分について
- 8-2 国立大学法人等における剰余金の翌事業年度への繰越しに係る承認について
- 資料 9 令和元年度財務状況（第 2 四半期まで）
- 資料 10 令和元年度資金管理実績表（第 2 四半期まで）
- 資料 11 令和元年度資金運用状況（令和 2 年 1 月）
- 資料 12-1 国立大学法人高知大学の中期目標新旧対照表（案）
- 12-2 国立大学法人高知大学の中期計画新旧対照表（案）
- 資料 13-1 国立大学法人高知大学の平成 30 年度に係る業務の実績に関する評価結果
- 13-2 国立大学法人・大学共同利用機関法人の平成 30 年度に係る業務の実績に関する評価について（所見）
- 13-3 国立大学法人等の平成 30 年度評価結果について
- 資料 14-1 令和元年度 年度計画進捗状況一覧表（9 月末）
- 14-2 令和元年度 年度計画進捗状況報告書（9 月末）
- 資料 15-1 大学の将来構想と今後の取組について
- 15-2 （参考）国立大学改革方針【概要】

議事に先立ち、第74回経営協議会の議事要録（案）の確認が行われ、異議なく承認された。

〔議題〕

1. 知的財産の活用状況について

石塚次世代地域創造センター長から、資料1に基づき、知的財産の活用状況について報告が行われた。

委員より、大学全体だけでなく、学部別の活用状況を示すのもひとつの方法であるとの意見があり、石塚センター長から、収入では医学部が高く、URAについても医学領域にも通じる者を採用しており、医学部案件を見据えた活動もしていきたいと考えているとの説明が行われた。

2. 人事院勧告に伴う給与関係規則の一部改正等について

辻田理事から、資料2-1～2-5に基づき、人事院勧告に伴う給与関係規則の一部改正等について説明が行われ、審議の結果、承認された。

委員より、今回初めて準拠しない事例という理解でよいかとの意見があり、辻田理事から、法律上も考慮して決定することとなっており、全く準拠しないという事ではなく、財源等を考慮し可能な範囲で対応を行っている旨の説明が行われた。

3. 義務教育等教員特別手当に関する関係規則の一部改正について

辻田理事から、資料3-1、3-2に基づき、義務教育等教員特別手当に関する関係規則の一部改正について説明が行われ、審議の結果、承認された。

4. 医師キャリア支援手当の新設に係る関係規則の一部改正について

辻田理事から、資料4-1、4-2に基づき、医師キャリア支援手当の新設に係る関係規則の一部改正について説明が行われ、審議の結果、承認された。

5. 臨地実習指導手当の新設に係る関係規則の一部改正について

辻田理事から、資料5-1、5-2に基づき、臨地実習指導手当の新設に係る関係規則の一部改正について説明が行われ、審議の結果、承認された。

6. リフレッシュ休暇に関する関係規則の一部改正について

辻田理事から、資料6-1、6-2に基づき、リフレッシュ休暇に関する関係規則の一部改正について説明が行われ、審議の結果、承認された。

7. 令和2年度予算内示について

事務局長から、資料7及び机上配付資料に基づき、文部科学省から内示があった令和2年度予算に関し、国立大学法人全般の概要及び本学に対する内示の内訳について報告が行われた。

8. 決算剰余金の繰越承認及び配分について

財務部長から、資料8-1、8-2に基づき、決算剰余金の繰越承認及び配分について報告が行われた。

9. 令和元年度第2四半期までの財務状況について

財務部長から、資料9に基づき、令和元年度第2四半期までの財務状況について報告が行

われた。

10. 令和元年度第2四半期の資金管理状況について

財務部長から、資料10に基づき、令和元年度第2四半期の資金管理状況について報告が行われた。

11. 資金運用状況について

財務部長から、資料11に基づき、資金運用状況について報告が行われた。

12. 中期目標・中期計画の変更について

本家理事から、資料12-1、12-2に基づき、中期目標の変更原案及び中期計画の変更案について説明が行われ、審議の結果、承認された。

13. 平成30年度に係る業務の実績に関する評価の結果について

本家理事から、資料13-1～13-3に基づき、平成30年度に係る業務の実績に関する評価の結果について報告が行われた。

14. 令和元年度年度計画進捗状況について

本家理事から、資料14-1、14-2に基づき、令和元年度年度計画進捗状況について報告が行われた。

15. 「国立大学改革方針」を踏まえた国立大学との徹底した対話の実施に向けた調書について

学長から、資料15-1、15-2に基づき、第4期以降も見据えた大学の将来構想について説明が行われた後、各理事から「国立大学改革方針」で示された方向性に基づく改革について担当に係る項目の説明が行われた。

なお、学長から、今回提出した調書に基づき、3月9日文部科学省と対話を実施する旨の説明が行われた。

16. 大学運営に関する意見交換

学長から、本学アドミッションセンターが分析した「地域別志願者状況等の分析」をテーマとする意見交換を行う旨の説明が行われ、喜村アドミッションセンター特任准教授から、机上配付資料に基づき、説明が行われた後、意見交換が行われた。

なお、各委員より、主に以下の意見があった。

- ・センター試験の結果のみで、選抜の良し悪しを判断するのは単純すぎないか。見方を変えれば、大学の選抜方針と合った特定の科目に特化した優秀な学生を的確に確保できているといえる。
- ・県内学生の少なさを考えると、学生のニーズと大学の思いの整合性をどうとっていくか考える必要がある。
- ・高知大学が掲げる地域の概念について、高知県だけを指すのではなく、他県から入学した学生が高知大学で地域志向教育を受け、出身県へ戻りその地域で活躍することも含めて地域であるということ、学外に向けて明確に発信すべきである。
- ・医学部では、都市部出身の学生が比較的入学しやすい地方の国立大学に入り、卒業後は都市部に戻るといったことが多くなっており、地方の国立大学病院の研修医の減少に繋がっている。そのような事情を考えると、県内の学生を増やす方法を考えた方がいいのではないか。

- ・今の企業は生き残りに必死であり、以前のように企業内で人材を育てる余裕がない。また、RPA等の普及により、事務職の採用がなくなっていく。能力の高い人材には高額の年収を払うが、そうでない人材は採用しない風潮が強まっている。また、若者の離職理由が以前と違い、嫌いだから辞めるのではなく、能力が追いつかないから辞めている。大学側も社会の変化を意識し、保護者や高校の先生が子供に選択させやすいように、社会が求める専門性を明確にするといったことも必要でないかと思う。
- ・高知では、最近は中学校の段階で県外に行かせる家庭が増えている。また、高校1年生から将来設計を立てその過程で志望大学を選択させている高校もあり、小中学校の早い段階で大学のイメージを企業も一緒になって植え付けていく必要がある。
- ・分析結果を基に判断すると、ターゲットとなる高校の学生数を減らさないこと、他県の国立大学志望の学生を振り向かせること等が考えられ、具体策を検討していく必要がある。

以 上